

タイトル：日水サービスが「MMパネット」採用（分割2）

棄量は、前年同月比で六二%もの削減に成功した。仲村副参事も、「一日の廃棄量が三キロ以内を抑えることが可能になり、これまでの『ラップしかない』という固定観念を覆した」と評価。

「現場スタッフも当初は、『ネットをかけるのが面倒』『荷崩れを起こされては困る』と使いたがらなかつたが、『扱いに慣れてくるにつれ、『意外に便利』『時間が短縮できる』と評価し出した」という。同副参事は、「経営層が抱く環境活動の理念を各階層へとトップダウンさせ、意識改革を図った好事例」と、付け加える。

意外に便利

その後、同社では使用エリアを限定し、同製品十枚で試験運用を開始。同部長は、「問題が起きなかったの

で、ラップ使用量の七〇%削減をめざし、さらに六十枚を追加購入した」と説明。

結果は、「十月の廃

は、「グループに先駆けてラップの削減に取り組んでいるが、成功事例が生まれればグループ各社へも紹介し、環境活動を推進していきたい」とし、「企業として環境活動を推進することは、社会的責任の一環。今後も積極的に取り組んでいき

チェック！

これが「MMパネット」

モリトとマルエムが開発したラップに代わる荷崩れ防止ネット「MMパネット」は、建設現場で使用される転落防止用の強靱な特殊ネットを帽子型に編み込み、パレット積み荷物を上から包み込んで固定するというもの。伸縮性のあるネットが積み荷を包み、上下左右から強力で締め付けて固定。走行時の揺れや強い衝撃を受けたときでも荷崩れ・落下を防ぐ。

また、強靱なゴムがネットに編み込まれており、荷物をさらに固定する。ラップのように毎回ゴミが出ないほか、材質に塩ビを採用していないため、リサイクル可能で環境に優しい。コスト削減にもつながることで、大手荷主企業を中心に採用が進んでいる。



現場でも「使いやすい」と好評